

# 都市みらい通信

## IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development

平成15年3月

(財)都市みらい推進機構

まちづくり情報

・地域の魅力づくり支援事業

都市みらいカレンダー

・財団人事異動

トピックス

・「第1回 低・未利用地の有効活用提案  
競技」の優秀作品が決定

平成15年3月31日

まちづくり情報

当財団では、国土交通省から各種の調査事業を受託しておりますが、今回は比較的ソフト面を重視した調査の紹介をいたします。

この調査は、「地域資源活用構想策定等支援調査」といい、自然環境、歴史、文化、人材等、地域の有する資源（魅力）の活用、再発見による地域活性化のモデル的支援を行うことにより、活力ある誇りの持てる自立的な地域づくりが促進されることを目的にしています。

当財団では地域づくりの観点から、この「地域資源活用構想策定等支援調査」のうち、平成13年度から「地域の魅力づくり支援事業」を受託しており、5年度にわたり調査を実施し、その事例集を取りまとめる予定になっております。

(企画調整部企画課長 浜田)

### 地域の魅力づくり支援事業

地域の魅力づくり支援事業については、地域住民等が参加した地域づくり活動が各地域で芽を出しつつあり、地方公共団体が地域住民と一体となって地域振興施策に地域の実情や地域住民の意向を反映させようと努めているところですが、地域での受け皿が整わず、地域の真のニーズに応じた地域づくりの進捗に結びつかないことにより、活動が停滞してしまうことがあります。

そこで、本調査では、地域づくりを始動する際に地域住民等の気運は高まりつつあるが「きっかけ」が見出せない地域を対象に、立ち上がり期や発展的な活動とするための「きっかけ」となる地域資源の再発見等、地域の魅力づくり活動を支援することにより、それぞれの地域特性に応じた地域振興の実現を図ることを目的としています。

平成13年度は、全国から64地区の応募の中から選定した6地区を対象に調査を実施いたしました。

◆平成13年度 調査対象地区及び事業概要

○北海道富良野市

「富良野型エコ・ミュージアム形成事業」

まち全体を魅力ある博物館として再構築していくため、専門家の助言、シンポジウム、研究会を開催する。

○千葉県木更津市

「東京湾アクアラインを活用した広域交流に向けた地域の魅力再発見調査」

地域振興のため対岸では何を期待しているのか、ニーズ調査を行う一方、広域交流市民の会による「かずさの食マップ」を作成する。

○東京都荒川区

「中心市街地活性化事業 地域資源等の活用事業」

中心市街地活性化のため商店街協議会等によるまちの実態調査を実施し、観光コース、観光マップを作成する。

○静岡県天竜市

「阿多古川「水辺の郷」づくり事業」

阿多古川水辺の郷づくり連絡会は地域住民の取組みで各種環境文化事業を推進しているが、専門家を招き地区の話題を明確にし、新たな魅力の発見や資源の見直しを行い、一層の展開を図る。

○和歌山県海南市

「～美しいまちづくり～海南市アダプト・プログラム導入事業」

総合計画にあるプロジェクトの一つである「美しいまちづくり」の推進のため公共施設の里親プログラムを実施する。そのためのシンポジウムの開催、サイン・パンフレット作成、アドバイザー派遣等を行う。

○愛媛県弓削町

「まちみてあるきマップ作成事業」

瀬戸内海の離島であるがいくつかの住民活動グループがある。地域づくりの活性化、地域に眠っている観光資源の発掘のため、まちあるきの会を開催し、マップを作成する。

なおこの調査は、毎年3月中頃に全国の都道府県を通じて各市町村に紹介があります。調査希望地区については簡単な応募用紙を記入して提出いただくことになります。都道府県によって担当窓口が違う場合もございますので、内容については当財団窓口もしくは国土交通省都市・地域整備局地方整備課にお問い合わせ下さい。

(国土交通省都市・地域整備局地方整備課)



[現地調査]



[ワークショップの風景]

## □トピックス

### 「第1回 低・未利用地の有効活用提案競技」の優秀作品が決定

当財団が主催しておりますアイデアコンペが、このたび審査会を開催し優秀作品6点が決定いたしました。昨年の10月に応募登録の募集をし、118名の登録をいただき、その内38名の方から作品を提出いただきました。

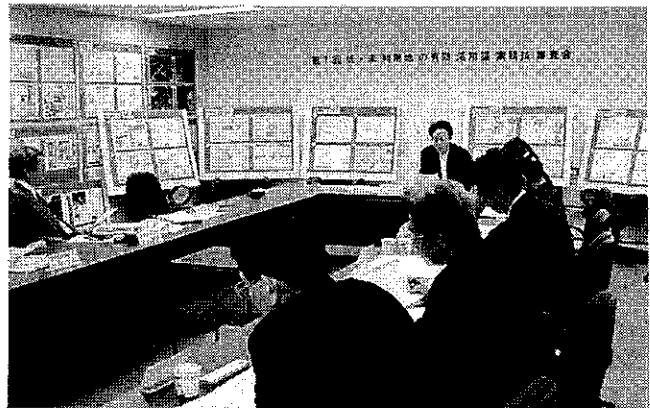
今回の「低・未利用地の有効活用提案競技」は、経済社会の再活性化に向けた様々な取り組みがなされる中で、低・未利用地の活用促進がひとつの大きな役割を果たすと期待されることから、本提案競技において、具体の土地を題材として低・未利用地の新しい活用方策に関する提案を募集しておりました。

選定結果につきましては次のとおりです。

#### [審査会]

#### 1. 選定結果

審査委員会において、土地活用における先進性や新規性を基本的な評価軸に、事業形態や経営方法等のソフト面、及び建物形態や空間構成等のハード面からの審査が行われ、その結果、以下の作品が優秀作品として選定された。



- ◇特選（国土交通大臣賞） 1点（賞状及び賞金50万円）  
ユビキタスエリア研究会（代表者 佐藤尚彦）／(株)日立総合計画研究所
- ◇入選（都市みらい推進機構会長賞） 2点（賞状及び賞金20万円）  
アマテラス（代表者 丸橋 浩）／アマテラス  
のぞ研2674（代表者 小澤西佳）／工学院大学
- ◇審査委員特別賞 3点（賞状及び賞金10万円）  
TEAM KNOT（代表者 レ・フ・ヴ・ナム）／東京工業大学工学部社会工学科  
(株)計画技術研究所（代表者 須永和久）／(株)計画技術研究所  
Suzuki & Company（代表者 鈴木章裕）／東京工業大学大学院

※作品の詳細については、当財団のホームページに掲載しておりますので、次のURLからご参照下さい。

都市みらい推進機構HP = <http://www.toshimirai.or.jp/>

#### 2. 審査総評

国土交通省の土地月間の協賛イベントのひとつとして企画・実施された本提案競技であるが、登録者数は118人、応募数は38作品であった。

この提案競技のポイントは、低・未利用地という有効活用することが一般に容易ではないと考えられている土地を課題地とすることから、提案の自由度を高くし、空間・建物といったハード面、事業形態や経営方法といったソフト面を問わず、幅広く新しい発想を含む土地活用方策を求めた点にある。

結果として、応募提案38作品は、どのような側面に着眼するかによってかなり多様な提

案内容となったが、傾向としては、単一機能で容積率を使い切った作品はなく、立地条件や現在の社会経済的背景などを読み込んだ作品が多く見られた。

たとえば、高齢者や子供、女性を主な対象とする施設やそれらの複合施設、緑や土など都市の中に自然の要素を導入する施設、資源・エネルギーやリサイクルなどに焦点を当てた施設、これからのライフスタイルやワークスタイルに焦点を当てた施設などの提案があった。また、暫定利用や施設の段階的な整備の提案もみられ、示唆に富む提案が数多く寄せられた。

この提案競技を契機とし、低・未利用地に対する人々の関心が高まるとともに、既存の枠にとらわれない新たな発想による土地の有効利用が実現されることを期待したい。

### 3. 今後の予定

優秀作品については、本年10月に予定されている国土交通省の土地月間の協賛イベントにおいて表彰式を行う予定である。また、それにあわせて本提案競技の作品集を取りまとめる予定である。

(開発調査部長 木瀬  
企画調整部調整課長 西尾)

### 都市みらいカレンダー

\*印のある項目については、他ページに解説があります。

財団

月	日	項 目	備 考
3	3	日立交通バリアフリー基本構想検討委員会	第2回
	3	エリアマネジメント調査研究会	
	4	名古屋臨海東部委員会	第3回
	5	*アイデアコンペ審査委員会	
	5	モデル調査(松江地区)会議	
	5	都市再生研究会A-WG講演会	第3回
	6	モデル調査(名古屋地区)会議	
	6	都市再生研究会 第5回全体幹事会議	第3回
	7	モデル調査(播磨町地区)	
	7	仙台市あすと長町施設立地研究会環境負荷軽減システム分科会	第4回
	7	JAPAN SHOP 2003	
	10	モデル調査(神戸地区)会議	第2回
	10	つくば新線関連シンポジウム	
	13	仙台市あすと長町施設立地研究会幹事会	第2回
	17	モデル調査(上越地区)会議	
	18	国際化に対応したまちづくり研究会	第2回
	18	モデル調査(仙台地区)会議	
	18	近畿圏大都市部リノベーション研究会	第3回
	19	仙台市あすと長町施設立地研究会全体会	
	19	モデル調査(延岡地区)会議	第3回
20	モデル調査(板橋地区)会議		
20	新潟駅周辺整備企業研究会	第3回	
20	ITを活用した大都市再編推進調査委員会		
25	企画運営委員会	第3回	
25	モデル調査(銚子地区)会議		
26	民間都市開発促進研究会	第3回	
27	品川新拠点研究会(都協)		
28	モデル調査(豊中地区)会議	第3回	
4	4	機関誌編集委員会	
	9	厚別副都心まちづくり基本構想策定委員会	
	9	理事会	

インテリジェントシティ整備推進協議会

3	10 18 24	高崎IT都市整備研究会 インテリ協委員会議 横浜市におけるIT産業集積研究会 ワーキング会議 横浜市におけるIT産業集積研究会	第5回 第6回 第3回
4	3 下旬 下旬	インテリ協方針会議 高崎IT都市整備研究会 幹事会	第4回

地方の拠点まちづくり協議会

3	18 20 25	まち協 高崎・上越ワーキング全体会議 継続セミナー「都市再生の為にキラメガソフト」 講演会「地方都市の整備をとりまく最近の話題」 (講師 国土交通省 平岡地方整備課長)	第6回
4	中旬 下旬	まち協 運営会議 幹事会	

都市地下空間活用研究会

3	5 7 11 28	都市交通施設分科会幹事会 大阪分科会拡大幹事会 ACUUS国際会議参加者解団式 調査研究部会 新テーマ(八重洲・京橋・日本橋地区)における第1回準備会	
4	4 9 10 11 16 18 23	都市交通施設分科会幹事会 中心市街地と地下街のあり方分科会(幹事会) 都市交通施設分科会 大阪分科会拡大幹事会 中心市街地と地下街のあり方分科会 企画運営小委員会(平成15年度) 大阪分科会	第8回  第23回 第1回 第13回

人事異動のお知らせ

- (3月31日付) 【退任】 開発調査部部長 入口 靖弘  
企画調整部企画課長 浜田 望  
開発調査部調査課長 松山 明  
開発調査部調査課長 清水 俊光
- (4月1日付) 【新任】 開発調査部部長 長野 恵一(前:神戸市)  
開発調査部調査課長 富田 正(前:名古屋市)  
開発調査部調査課長 磯部 洋介(前:北九州市)
- 【内部異動】 企画調整部部長 井上 岳(前:開発調査部部長)

— あとがき —

国土交通省の土地月間協賛事業の一つとして、都市みらい推進機構主催による第1回低・未利用地の有効活用アイデアコンペが企画実施されました（後援は国土交通省・都市基盤整備公団・地域振興整備公団・（財）民間都市開発推進機構・海老名市）。都市みらい推進機構としては公益事業の一環として位置付け、積極的な取り組みを行ってまいりましたところ、登録者118人、応募38作品と、初回としては大変良い成績を達成することができました。応募者の主な職業別内訳は、建築設計・コンサルタント45%、学生・大学院生37%、建設業8%となっています。当財団の賛助会員の皆様からも9件の応募を頂きました。また、課題地が首都圏近郊都市ということもあり、東京都を含む首都圏地域からの応募が76%をしめました。都市みらい推進機構といたしましては、次年度以降も引き続き実施したいと考えておりますので、皆様のご支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

開発調査部長 木瀬

発行

財団法人 都市みらい推進機構

〒112-0013

東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽3階

TEL：03（5976）5860

FAX：03（5976）5858

[kikaku@toshimirai.or.jp](mailto:kikaku@toshimirai.or.jp)

<http://www.toshimirai.or.jp>